

各 位

会社名 新報国製鉄株式会社
代表者名 代表取締役社長 成瀬 正
(東証JQ・コード 5542)
問合せ先 取締役総務部長 成島伸一
TEL 049-242-1950

新型コロナウイルス感染症への対応について

—社長メッセージ—

危機を乗り越え、コロナ後に備えよう！

4月7日に緊急事態宣言が発令され、外出の自粛、各種イベントの開催制限の要請、特定業種の休業要請など事態は深刻さを増しております。ウイルスの封じ込めと社会生活、経済活動の正常化のジレンマもあり、いつ終息するかは目途はまったく立っておりません。

当社としては、このような事態が長期化するものと覚悟を決め対応して行く必要があると考えております。幸いにも当面の受注状況は新型コロナウイルスの影響は受けておらず操業を続けております。当然ながら社員の命と健康を最優先に考慮し、出張の原則禁止、テレワークなど在宅勤務を優先し、どうしても出勤せざるを得ない製造現場等の社員は、車通勤(90%)、電車通勤の社員は時差通勤を実施しております。現場作業におきましても一定の距離を取るように工夫し、職場によっては二交代勤務制をとるなど最大限の感染防止対策を実施しております。

一方、操業面はお客様からは予定通りの注文を頂き、社員一同の頑張りでも上記対策を取りながら納期遅れも出さず、順調に操業しております。

しかしながら、今後につきましては、現時点では受注見通しは変わっておりませんが、物流、人の移動などの阻害要因も出てくる可能性はあり、不透明感はぬぐえません。

当社は、当初より今年度は厳しい見通しに立っており、固定費の削減を図って参りました。

また、短信にも記載しました通り、十分な手持資金を有しており、守りの体制は万全を期しております。

一方、コロナ後を考えますと、世界の様相は大きく変化し、新たなビジネスチャンスが生まれるものと思われれます。仕事のやり方、働き方改革は急速に進み、職場ではテレワーク、ウェブ会議が加速し、また教育や医療の分野では、オンライン授業やオンライン診療が拡大、コミュニケーションの場もオンライン飲み会等々が行われるようになり、あらゆる分野でIT化による大変革が進むと考えられます。それらはすべてデジタルデータの大容量化および5Gなどの高速通信化が必須であります。そのインフラを実現するために半導体、FPD(液晶・有機EL)製造装置の設備投資は増大するものと考えられます。

当社としては、そのような事態に備えるべく、生産性の向上、生産効率の向上、品質向上等の技術的課題に取り組み、この時期こそ技術開発、教育に注力して参ります。

お客様、株主様、取引先様、社員すべてのステークホルダーの皆様の期待に応えられるよう全力を尽くして参ります。

以 上